SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)

カ				具体的な取組				ゴールと1					
7	非認	チェック項目	取組 レベル	(県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	1 m	2 3 4 5				11 202220		13 14 15	
1		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	雇用・教育・昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で 差別しない体制を構築する。男女関係なくスキルアップ対する受講料・奨励金等の実施。	1 55 1:444	5.1 5.2 5.5	Ā	8.5 8.7 8.8	10.2	AB16	<u></u>	M strong	16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談 体制を整備している	基本	セクシュアルハラスメントの禁止・パワーハラスメントの禁止及び相談・苦情への対応等の旨は就業規則に明記している。 「予定」相談・苦情窓口の設置する。		5.1 5.2 5.5		8.5 8.8					16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	「働き方改革」を受けて、働きやすい環境で、生産性の高い会社に変えていこうという取り組みを経営者を含めて全社員が共有し取り組んでいる。				8.5 8.8					
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	当社では、外国人労働者は採用していないため。		4.4		8.7 8.8	10.2 10.3				
5 人		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	社員の安全衛生の確保及び改善を図り、快適な職場の形成のために必要な措置を講ずることを、就業規則に明記しており毎朝の朝礼等で周知徹底している。		3		8					
学 6 個]	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	「予定」メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するため の研修会を実施しメンタルヘルス対応した規定等を整備す る		3							
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境 の整備に取り組んでいる	基本	年齢・性別・学歴・職歴等の多様性を生かし、資格制度等へのチャレンジ制度を設け支援している。		5.1 5.5		8.5	10.2 10.3				
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	資格取得手当制度を設けて、職務や役割に応じた研修体系を整備し実施している。(鑑定士・FP・住宅ローンアドバイザー等)		4 5.5		8	9				
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	「予定」パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働・同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行う。		5.5		8.5	10.2 10.3				
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	全国健康保険協会・協会けんぽ「健康づくりチャレンジ宣言」 を行っている。「予定」健康経営優良法人認定(経済産業 省)申請中		3		8					
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	「3R(リデュース・リユース・リサイクル」活動を周知し、特に紙資源については、リサイクル・リユースの取組を行っている。						11.6	12.4	14.1	
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	「予定」エコアクション21認証の取得				7.3				13	
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	「予定」エコアクション21認証の取得				7.2 7.3			12.4 1	3.3	
14	į į	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用 に取り組んでいる	基本	当社では、事業活動において有害化学物質はないと考える		3.9	6.3			11.6	12.4		
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境に配慮した製品・材の利用・購入時に、生物多様性や 生態系に配慮している。			6.6					15	
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	「3R(リデュース・リユース・リサイクル」活動を周知し、特に紙 資源については、リサイクル・リユースの取組を行っている							12.5	14.1	
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	上下水道使用状況を調査し、社員に節水等について利用 効率の改善に取り組んでいる。			6.4 6.6						

Γ	カ						<u> </u>	なSDG	s (17	7ゴールと	169タ	ーゲ、	ソト)	関連:	項目		
	テゴリ	非該 当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	1 85 hits	2 3	4 5	6	7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	9	10 11	12	13	14 15		
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	「予定」エコアクション21認証の取得		3.9		6	7			12	13.3	14 15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	「予定」環境方針を策定し、HP等で公表したい。								12.6	6			
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	「予定」再生可能エネルギーをを理解し、太陽光発電やクリーンエネルギーを検討したい。					7.2				13			
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	日々使用するトナーはリサイクル製品を使用している。「予定」環境保全と経済の両面を考慮した持続的利用目的で社用封筒にFSC認証紙(森林認証紙)採用したい。								12.2	2 13	14 15		
22			【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則の服務規程(遵守事項)に明記している。特にコンプライアンスについて毎月研修会を実施している。											16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を実施している。											16	
24	公正な		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	「予定」商標について、知的財産権の取得・管理を検討 したい					8.2 8.3	9						
25	な事業慣行		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報管理について、当社、HPと社内に〔個人情報保護に関する基本方針(プライバシーポリシー)〕記載し、広く公表しており、特にセンシンティブ情報については厳格に管理している。											16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	当社での、事業活動において紛争鉱物の取り扱いと考える。											16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系へ の悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)に ついて認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	「予定」サプライイチェーンとしての、引受保険会社と情報を 共有し、提携代理店・事務委託代理店等の数十店の代理 店を指導する中で、(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)等の 認識を共有し共に取り組みを検討したい。			5		8		10	12	13	14 15	16	17
28			【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	監督庁(金融庁)が望む「体制整備」と「お客様本位の業務 運営」を整備しこれらに関する方針策定を公表し、PDCAにて 確認し、サービスの安全性を構築している。		3.9						12.4	ļ			
29	製品・		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	IS09001(保険代理店業務)令和1年12月認証を取得し、 品質やサービスの提供するための仕組みを構築している。						9						
30	サービス		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	保険会社が提供するシステムにおいて、ペーパーレス化に伴い自動車保険web約款を積極的に推進している。「予定」web証券のペーパーレスが拡大され「生き物が住みやすい環境づくり」SAVN JAPANプロジェクト活動を支援したい				6				12	13	14 15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	100年に一度と言われる異常気象の影響からか、大雨・大雪・台風等の自然災害で発生する物損害、人に対するケガ・病気での失われる経済損失を補う保険も併せて案内し展開している	1	2 3	4 5	6	7 8	9	10 11	12	13	14 15	16	17

				日从处心面如			主	なSDG	(17	7ゴール	169ع	ターク	řッ l	ト) [関連項]		
	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)					6				11		13 14			
	=		レベル	併せて記載してください。)	1 85 İrêfil	2 585	3 macaus -/å	1	6 seems	7 1355-1645 8 85533 (C)	9 tälleteen 🗞	10 AMERICAN (\$\displays\)	11 12550° 1 All		14 to 100	15 ****** ******************************		7 ±±±±± ∰
32	±	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	「予定」地域との対話を進めて、当社が地域に与える影響を 把握して適切に対応したい。				4			9		11	12	14	15		17
地域貢献	会 宣 武	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	当社では、災害ボランティア及び消防団加入の促進を図っており、地域防災活動に積極的に参加している。				4					11		14	15		17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	当社で使用する什器備品等の購入について、地元の業者を優先的に利用している。						8	9		11	12	13			
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念及び経営方針を朝礼で唱和し共有している。年間 事業計画及び中期計画を作成し毎月開催している経営会 議にて、進捗状況を確認している。						8	9							17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築し ている	基本	他店で発生した事案、また、起こりえる事案等についての未 然防止等について、全社員に向けて発信し法令遵守(コンプライアンス)研修会を毎月実施している。	,												16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	組織体制については、監督官庁の指導により、体制整備の 観点から経営者自ら責任者となり組織図で共有している。													16	
38 組織		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	当社のステークホルダーは、引受保険会社・所属団体・修理工場等の車関連業者、更に契約者であり常に対話・面談を行い適切に対応している。													16	17
39 制		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	日常・将来に予測されるリスクを洗い出し、リスクマネジメント の方針に沿って対応している。													16	
40		【社会的責仕】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づ き企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んで いる	チャレンジ	「予定」「CSR」方針を作成し。CSRマネージメントプロセスを整備する。													16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	事業継続計画(BCP)の策定し、定期的に訓練を実施している。「予定」経済産業省「事業継続力強化計画」認定を 目指す。							9		11		13 13.1		16	
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	後継者候補がおり、事業継承(サクセッションプラン作成)について準備を進めている。						8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4 5	5 6	7	8	9 10	11	12 13 14	15 16 17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録 が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)